

## (ご参考情報)

### 神奈川県立城ヶ島公園について

三浦半島の最南端にある、首都圏では数少ない島。  
相模灘に突き出した緑の楽園、城ヶ島。この島の東半分に広がるのが、県立城ヶ島公園です。  
園内や周りの岩礁地帯では、大洋に面した島ならではの光景を目にすることができます。  
展望台からは、ぐるり360度の大パノラマです。景色だけでなく、植物ウォッチングも楽しみの一つです。  
1月下旬には春一番の花だよりとなって県内を駆け巡るスイセンをはじめ、さまざまな海浜植物を目にすることができます。本イベント開催の9月の終わりは例年ススキが見頃となります。  
その一方で、強風により変形したマツの姿や、波に削られた岩礁などの荒々しい風景が自然環境の厳しさを物語ります。首都圏からも日帰り楽しめる自然美と満点の星空で皆様のお越しをお待ちしています。



### CINEMA CARAVAN とは

「地球と遊ぶ」をコンセプトに、五感で体感できる移動式映画館プロジェクト。  
写真家・志津野雷を中心に2010年にスタート。日常の風景に野外上映用のスクリーンを広げ、非日常の映画館を作り、旅で出会った方々から生きる知恵や工夫を学ぶ。各地に根付く文化や風景、リアルな現実など旅をして出会った感覚を様々な手法で切り取り、世界や次代に伝えていくための情報交換の場をつくり2017年で8回目を迎えた逗子海岸映画祭の主催や、東京国際映画祭、サンセバスチャン国際映画祭など国内外の映画祭での出展や、大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ（新潟県）や、Artjog（インドネシア）などアートイベントでのインスタレーション、白川郷（岐阜県）や夕張市（北海道）など地方での公演・自治体との連携による地域活性化など、活動はジャンルや国境を越え多岐に渡る。2017年には志津野のこれまでの旅の記憶やメッセージを込めた映像とミュージシャンとのライブセッションによる体感型映画「Play with the Earth」を発表。liveな動く媒体、変化し続ける作品とチームと共に、旅を続けている。

そんな「CINEMA CARAVAN」がプロデュースする最大のイベントが、【逗子海岸映画祭】。  
一年に1度、彼らのホームグラウンドである逗子で、繋いだ縁と旅の成果を共有し、その文化を体験する場所として開催される。2010年に始まり、今やゴールデンウィークの関東圏での人気イベントとなった屋外型の映画祭。普段は何もない静かな逗子海岸を舞台に、DIYで会場を造り上げる。約10日間の会期終了後、何事もなかったかのように静かな元の海岸へと戻る。突如出現した消えゆく、まさに「夢」のような舞台。  
スペイン・バスクやインドネシアをはじめ、親交のある世界の国からスポーツ、カルチャーなどを各日程のテーマに、映画とイベント、食をプロデュース。日中は、音楽、ワークショップ、ショッピングなどを楽しみ日没とともに波音と星空をバックに映画の世界を堪能する。映画を目で”観る”だけでなく、五感をフルに使ってカラダ全部で楽しむ。自然環境の中で、様々な文化を体験し、地球と遊ぶ。まさに体感型の映画祭である。

